

● 関西支部 平成 4 年度材料評価セミナー

鉄鋼協会および金属学会関西支部主催で下記の材料評価セミナーを開催することになりましたのでご案内申し上げます。平成 4 年度は四つの課題についてそれぞれ 1 日の日程で講義と実習を行ないます。

< 1 > 化学的評価 (基礎コース) : “金属の腐食と電析の基礎”

内容: 金属の腐食は単に美観を損なうだけでなく、破壊事故の原因となる例が多い。本セミナーでは環境に適合した材料の選定、防食技術の基礎知識を修得するために、腐食現象の基本となる電気化学的機構を講義と実験により理解をはかる。

講師: 山川宏二 (大阪府大), 工藤赳夫 (住友金属)

場所: 大阪府立大学工学部 8 号館化学実験室/〒591 堺市百舌鳥梅町 4-804

期日: 平成 4 年 10 月 13 日 (火)/募集人員: 30 名

< 2 > 組織観察 (基礎コース) : “走査電子顕微鏡による破面観察とその解析”

内容: 材料の破断面から得られる情報は、破壊の事故原因の調査に際し残された唯一の直接的証拠を提供する。一方破壊の研究に際しては材料内部における破壊過程を直接捕えられる手段として他の方法では得難い貴重な情報を提供してくれ、ミクロ現象とマクロ現象を結びつける役割を示唆してくれる。したがって破壊原因の調査あるいは新材料の開発には不可欠の手法の一つである。そこでこれらの技術を理論と実験の両面からわかりやすく解説する。

講師: 駒井謙次郎 (京都大), 城野政弘 (大阪大)

場所: 兵庫県立工業技術センター/〒654 神戸市須磨区行平町 3

期日: 平成 4 年 10 月 30 日 (金)/募集人員: 30 名

< 3 > X線回折 (基礎コース) : “粉末 X 線回折法による相の同定と残留応力測定の実理と実際”

内容: 材料の合成,あるいは熱処理によりどのような相が形成されるかを知ることは材料評価の基本のひとつであり、粉末X線回折法によれば非破壊的に相の同定および構造を調べられるので便利である。また同じくX線回折法により材料中に残留する応力を調べることができる。本セミナーではX線回折の実理,残留応力の定義と発生原因さらに測定方法とデータ解析について講義と演習により理解をはかる。

講師: 田中啓介 (名古屋大), 坂谷忠夫 (理学電機), 小木曾克彦 (理学電機), 佐々木勝成 (理学電機)

場所: 理学電機 (株)/〒569 高槻市赤大路町 14-8

期日: 平成 4 年 11 月 13 日 (金)/募集人員: 30 名

< 4 > 表面分析 (基礎コース) : “表面・界面, 微小分析—その測定原理と評価・解析技術”

内容: 金属, セラミックス, 高分子及びそれらの複合材料の品質, とくに表面機能の向上のためには, 表面・界面或いは微小部のミクロ構造を適確に把握することが不可欠である。本セミナーでは, 日頃各種材料の製造技術や品質特性の改良, 新製品の開発に携わっておられる若手技術者, 研究者を対象として, 現在最もよく使われている EPMA, ESCA, Auger, SIMS の基礎から応用に至る迄を, 講義, 分析実習及びデータの評価・解析演習をとおしてわかり易く解説する。

講師: 深町正利 (金属材料技術研究所), 神野正文, 小原清弘, 田辺道徳 (鳥津製作所)

場所: (株)鳥津製作所三条工場研修センター及び京都分析センター/〒604 京都市中京区西ノ桑原町 1

期日: 平成 4 年 12 月 11 日 (金)/募集人員: 30 名

受講料 (テキスト代を含む, 消費税込み) : 1 コースにつき会員 15,000円 (非会員 20,000円)

申込要領: 4 コースすべてを受講する必要はありませんが, 全体をまとめて末尾の用紙に必要事項を記入のうえお申込みください。申込みは先着順とします。以後の連絡および受講料の支払い法については後程連絡いたします。

申込先: 〒660 尼崎市扶桑町 1-8 住友金属工業(株) 鉄鋼技術研究所内

関西支部材料評価セミナー事務局 岩永祐治 (TEL 06-489-5701 FAX 06-489-5787)

申込締切: 平成 4 年 9 月 15 日

(見本) 平成 4 年度『材料評価セミナー』受講申込書 (一人一枚とします)

平成 年 月 日

氏名				会員資格	会員	非会員
勤務先 (在校名)						
連絡先						
Tel				Fax		
受講希望するコースに○印を付して下さい。						
< 1 >	化学的評価 (基礎コース)	< 3 >	X線回折 (基礎コース)			
< 2 >	組織観察 (基礎コース)	< 4 >	表面分析 (基礎コース)			